

2000年 国際看護師の日

International Nurses Day 2000

看護師：いつもあなたのために、あなたのそばに

Nurses, Always There For You



目次	ページ
第1章 24時間昼夜を問わず、ライフ・サイクルすべてが守備範囲	3
第2章 看護師さんが一番	5
第3章 高く評価される看護師	6
第4章 看護にまつわる数値	8
第5章 最近のデータから	8

国際看護師協会 (International Council of Nurses)

日本看護協会訳

訳注) この文書中の「看護師」とは、原文では **nurses** であり、訳文では表記の煩雑さを避けるために「看護師」という訳語を当てるが、免許を有する看護職すべてを指す。

All rights, including translation into other languages, reserved. No part of this publication may be reproduced in print, by photostatic means or in any other manner, or stored in a retrieval system, or transmitted in any form without the express written permission of the International Council of Nurses. Short excerpts (under 300 words) may be reproduced without authorisation, on condition that the source is indicated.

他の言語への翻訳権も含めて、この出版物は著作権を有しています。国際看護師協会(ICN)から文書による許諾を得ることなく、本書の一部または全部を何らかの方法で複製することや検索システムに登録することなど、一切の伝播を禁じます。ただし、短い引用(300語未満)に関しては許可は不要ですが、その場合は出典を明記してください。

Copyright ? 2000 by ICN - International Council of Nurses,
3, place Jean-Marteau, CH-1201 Geneva (Switzerland)

* この文書は、国際看護婦協会の許可のもとで日本看護協会が日本語訳としました。無断で使用することを禁止します。

第1章 24時間昼夜を問わず、ライフ・サイクルすべてが守備範囲

1100万人の看護師 世界中でヘルスケアの主力として活躍

「私の看護師さんたちは、私がいやがることをしなくちゃいけなくても楽なようにしてくれる。私が泣いても、手を握って涙をぬぐってくれる。看護師さんと天使って、私のような子ども達に何か良いことをしてくれるんだと思う。」…13歳の白血病患者児

2000年5月12日 あなたの町、あなたの国

病院および農村の保健所、学校、職場、家庭、刑務所、交戦地帯、難民キャンプでケアを提供している1100万人以上の看護師、これらの看護師が、世界中の保健サービスを有効に提供する鍵を握っている。2000年「国際看護師の日(IND)」、世界中の人々は看護の真価を認識することになるだろう。

「看護師がほとんどのヘルスケア・チーム、特にプライマリ・ヘルスケア・チームの主力である、ということは明らかである。」と世界保健機関(WHO)の事務局長、グロ・ハルレム・ブルントラント博士は言う。「WHOは、全ての人に全ライフ・サイクルを通じて(妊婦、乳幼児、児童、青年、成人、そして高齢者)ケアを提供している看護師の取り組みを高く評価する。特に、貧困者や避難民、また強制追放者、ストリート・チルドレン、ホームレスなどの弱者集団への看護師の努力を褒め称えたいと思う。」

「私の看護師さん、私たちの看護師さん」 - いつも必要としている人々のためにいる？

今千年紀の最初の「国際看護師の日」のテーマである『看護師:いつもあなたのために、あなたのそばに』、これはまた、看護師が人類への奉仕としてケアと癒しの活動を行っていることを証明する言葉なのである。

実際、全ての国において、ヘルスケア提供者全体で一番数が多いのは看護師である。また、災害救援、難民キャンプ、武力紛争下で活動している医療提供者も、大多数が看護師である。看護師は学校保健を管理し、ストリート・チルドレンを援助し、重篤な疾病を持つ若者の手当てをしている。健康な妊娠期間の経過と安全な出産を促し、穏やかな死を支援し、慢性病を持つ人をケアし、またケア戦略の改良を模索している。援助が必要な人々を助けようとしても、不十分な技術支援しか提供できない状況が往々にしてあるが、そのような場合でも常に、看護師は世界中で、癒しに不可欠な人間味を与えてきたのである。

9歳の女子小学生が、次のようにやさしいけれども説得力のある言葉で、看護の本質をほぼ捉えている。「看護師さんが好きです。やさしくしてくれます。看護師さんは人々を助けます。」

看護の費用効果

良質なヘルスケアが与えられれば、間違いなく健康は増進される。そうなれば、ヘルスケアもますます費用効率の良いものになるにちがいない。熟練した看護師によってケアが提供されると、結果として、そうでない場合には見られなかった変化が生じる。そして、そのようなケアは、費用効率が良いということがこれまで立証されてきた。いくつか顕著なものを挙げると次のようになる。

- 熟練した看護は、入院期間を短縮させる。したがって、費用を削減することになる。
- 病院の死亡率は、職員に占める看護師の比率に反比例する。看護師数が多いほど、死亡率は低くなる。
- 急性期医療ではなく、リハビリテーション専門看護を受ける患者には合併症が少なく、身体的依存度も低い。
- 在宅看護でフォローアップをすると入院率が低下する。

ルイス・トーマス博士が、著書『ザ・ヤングスト・サイエンス』で次のように言及している。「内科的な治療のあと手術を受けたが、その折、患者として気づいたことがある。それは、(病院)施設が団結し、結束を固めて、一つの有機的組織体として機能できているのは看護師によるもので、それ以外の何者によるものでもない、ということである。」

看護師が変化をもたらす様々な方法

看護師の果たす役割と働く場所は多様であるため、いつ如何なるときでも、また人の一生のどの段階でも、健康と疾病に関するニーズを充足させることができる。さまざまな役割を通じて看護師は、健康状態やヘルスケア・ニーズに影響を与える複合的要因に対する人々の対応能力を高めていく。実際の例を少し次に挙げる。

ケニアでは、看護師は若者への性教育のためのワークショップを開いている。その結果、十代の妊娠が減少した。

イギリスでは、看護師が住民、警察、メディア、住宅関係職員と協力し、昼食会、親のための講習会、親と幼児の集団、リソース・センターを作って、麻薬の使用がはびこり貧困に苦しんでいたゲットーを思いやりのあるコミュニティに変えていった。

アフリカおよびアジアの多くの国では、看護師が在来の産婆の訓練と監督を行い、新生児破傷風の発生率を低下させた。

ロンドンのウエストミンスター宮殿では、看護師が近代的な職場保健サービスの一翼を担っている。下院議員や何千人もの職員および来訪者に、ウォーク・イン・ヘルス・サービス(いつでも行けば受けられるサービス)を提供している。業務範囲は、頭痛薬投与から、心停止や損傷の救急処置まで多岐にわたっている。北アイルランドのベルファーストのナース・プラクティショナーは、売春に関与した女性(その中には14歳という若年者も含まれていたが)にプライマリ・ヘルスケアを提供する施設、ドロップイン・センターを開設した。

アメリカでは、老人ホームに収容されている高齢者の34%が転落・転倒を経験しているということを示した看護研究を受けて、ナース・プラクティショナーが住民に転落・転倒を防止あるいは減少させるための講習会を開いた。その結果、損傷が減少した。

アイスランドでは、行動に問題のある乳幼児を持つ母親に、電話による介護介入が行われ、母親の倦怠感および抑うつ症状が有意に低下するという結果を得た。

赤十字社の活動に関わる看護師の活動例には、次のものがある。負傷者のための内科および外科的支援、戦争負傷者の避難、野戦病院の運営、栄養回復、予防接種キャンペーンの運営、プライマリ・ヘルスケア・プログラムの実施、難民のためのヘルスケア。

健康の促進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和という看護の四つの目標を達成すべく、看護師は解決策を提供し、人々の心を動かしながら、想定可能なあらゆる状況で、社会の健康と生活に影響を与えてい

る。イギリスのアン王女が、いみじくも言い表しているように、「科学や技術が向上しても、人間との繋がり、そして個人との連携や他者からの反応を得ることの重要性をなくしてしまうことはできない。このことは、おそらく看護が最も明確に示していることだろう。」

第2章. 看護師さんが一番

看護師さんを実際に見てみて

【アンソニー・ロバート・スミス、イギリス】

「兄、デーモン・ホワイトヘッドが病気になったのは、4歳のときです。一度にいろいろな病気に罹りましたが、なかでも麻疹はひどいものでした。痙攣を起こし、昏睡に陥りました。麻疹脳炎と診断されました。それ以後、セント・オールバンズにある家で過ごしていますが、「極度」精神障害と聾、視野の部分欠損があり、身の回りのことはほとんど自分でできない状態です。これまで私は、理解してくれそうな人に対しても、自分の喪失感を一言も口にすることができないでいました。兄は、自分の面倒を見てくれる看護師さん以外、この世の中のことは何も知りません。兄は、30年以上に亘って最高にやさしいケアを受けてきました。現在、兄は39歳です。皆さん方に感謝することができて嬉しく思っています。というのは、看護師という職業は、この世の中の人々が知りえるなかでも最も価値のあるものの一つだからです。皆さん方は、わずかな報酬で、兄の生活を改善してきてくださったのです。私と家族は、看護職に心の底から感謝いたします。敬白」

【女子小学生9歳、ボツワナ】

「看護師さんが好きです。やさしくしてくれます。看護師さんは人々を助けます。」

【ルイス・トーマス博士、『ザ・ヤングスト・サイエンス』から】

「内科的な治療のあと手術を受けたが、その折、患者として気づいたことがある。それは、(病院)施設が団結・結束し、一つの有機的組織体として機能できているのは看護師によるもので、それ以外の何者によるものでもない、ということである。」

【ジョン・センタム師・博士、ウガンダ】

「(私の母は)おおよそ3ヵ月間うまく飲み込むことができなかった。その原因は、大きな悪性腫瘍が喉にあって猛烈な勢いで大きくなっていったからだ。4時間に及ぶ手術を受けた。ガンはうまく取れた。看護師のクライとメイズは昼夜を問わず働いて、母の口を湿らせてくれた…そうしてルースは、もう一度飲み込める機会を与えられてとても感謝した。」

【デヴィ、カナダ】

「年は13歳、白血病に罹っている。白血病になるなんて愉快的なことじゃない。でも私の看護師さんのような人たちは、私がいやがることをしなくちゃいけないでも、私が楽なようにしてくれる。私が泣くと手を握って涙をぬぐってくれる。でも、看護師さんがそうしてくれるまでは、長い間泣いたりしなかった、泣き虫だと思われるのではないかと心配だったから。看護師さんと天使って、私のような子ども達に何か良いことをしてくれるんだと思う。」

【リン・ザリツキ、ソルトレーク・シティ、アメリカ】

「私達のような障害をもつ人間は、数多くの看護師さんに出会う。例えばエリサ、私のために私の主治医を怒鳴りつけてくれた。正直なところ、経歴ということから言えばこのようなことは賢明な行為ではないが、私が適切な治療を受けられるように助けてくれたのである。それからルー、仕事で家に来てくれたことがあるが、その後も仕事でなくてもときどき家に立ち寄ってくれる。

そしてトッド、病室の私の寝ている横でいく晩も過ごして、私の呼吸を観察し、病状の一進一退をどんな数学者も誉めてくれそうなグラフにして、警戒を怠らなかつた。私の人生はロンダによって何回も癒された。とても沢山のローションを私のうずく背中に塗りつけてくれたが、同時に私のうずく心にも本当に沢山のやさしさをすり込んでくれたのだ。

そしてデニス、デニスはいつでも敬意を持って私に接してくれた。ときに一貫性のない私の不平を批判するのではなく、共感を持って耳を傾けてくれた。ジョアンに関しては、彼女は偉いなあと何回も感心させられた。

あるときジョアンは、私の硬直した足が覆われていることが問題だと考えると、はさみを取り出して、私が着ていた病院支給のパジャマのズボンから"デザイナー・ショートパンツ"を作ってくれた。

シンディは何回も私に楽しい思いをさせてくれた。私の状態が危険なときでもユーモアを見つけ、笑えるほどの息ができないときでも、ずっと私を笑わせてくれた。」

【香港の乳房切除術を受けた患者】

「看護師さんは、忍耐強く、やさしく、しかも思慮深い。手術の後、意識が戻ったときに、私はとても落ち込んでいた…看護師さんたちがしてくれたことに対して、私は適当な言葉を見つけることができなかつた。失ったものはあったが、看護師さんのおかげで手術がとても違ったものになった。」

【ステーシー・リベラ、ディアーク・パーク、アメリカ】

「スクール・ナースがいなかったら、息子は過去 23 年間で何回かは入院しなければいけなかつたでしょう。息子が受けている実際の投薬量とその起こり得る副作用は、ナースでない人間だと誰でも気が遠くなるような気持ちです。」

第 3 章. 高く評価される看護師

世界中の指導者、看護師について語る

【イギリス、アン王女】

「科学や技術が向上しても、人間との繋がり、そして個人との連携や他者からの反応を得ることの重要性をなくしてしまうことはできない。このことは、おそらく看護が最も明確に示していることだろう。」

【コルネリオ・ソマルガ、赤十字国際委員会委員長】

「国際赤十字社の積極的な保健および救援活動に携わる者のなかで、看護師の数は最も多い。看護師は、犠牲者、囚人、負傷者、病人、強制追放者と直接、接触している。看護師のかけがえのない努力…それは常に心身

両面を考慮したその態度に表れている。相手を落ち着かせ、癒し、愛情を表現している態度である。看護師は人の声に耳を傾ける方法、手を差し伸べる方法、相手を尊重していく方法を知っている。」

【ジャンピエール・cheヴェネメント フランス内務大臣】

「私は、看護に賛辞を贈りたいと思う。看護、この専門職に対して、フランス人は大いなる尊敬の念を抱いている。保健専門職者がその仕事を通じて与えてくれる救いは、技術的に変わってきたかもしれないが、看護師がもたらす身体的および道徳的支援はずっと変化していない。」

【コフィ・アナン 国連事務総長】

「私は、ICN(国際看護師協会)の取り組みを非常に重視しており、ICNの良質な看護とヘルスケアへの献身を高く評価している。実際、ヘルスケアの権利は世界人権宣言に組み込まれたものであり、この点において、看護とは国連の取り組みに重要な貢献をしているのである。」

【"スーパーマン"、クリストファー・リーブ、俳優・監督】

「看護師は、私自身の回復と健康になくはならない存在であった。同じことは看護師の親身な気持ちと慈しみの心、そして専門知識と技術によって、病にあって健康を回復させ、安らぎを与えられる世界中の何百万人の人々にも当てはまる、と私は認識している。」

【WHO 事務局長、グロ・ハルレム・ブルトランド博士】

「人々が苦しんでいるとき、弱い立場の人たちがケアや援助を必要としているときなど、求められる限り看護師はずっといる、ということを知っている。

」

【ビル・クリントン アメリカ合衆国大統領】

「病院から家庭、また長期療養介護施設に到るまでのさまざまな場で、看護師は、技術を使って患者と家族に奉仕し、信頼と不変の感謝を獲得しているのである。」

【ウェストミンスター大寺院主教 ジョン・センタム師、博士】

「私にとって看護師とは、保健専門職の無名のヒロインとヒーローたちである。」

【キャロル・ベラミー 国連児童基金(ユニセフ)事務局長】

「…看護師は家庭、職場、また遊びにおける子どもと家族のニーズを知りつつ、個人、家族、地域社会、そしてヘルスケア提供者を繋げる輪として奉仕している。このような特質を持つ理由は、看護師が世界中のヘルスケアの主力であるからであり、また看護師が、子ども達の生存と保護と十分な発達および参加の権利の支持者で、これらの権利を脅かす看過できない不公平への断固たる反対者であるからである。」

【アガカン病院(ケニア、ナイロビ)最高責任者、レン・ヘフナー医学博士】

「身体的、情緒的および精神的側面を含めた全人的な癒しに関わるという特権と機会以上に崇高なものはない。看護専門職は、技術と思いやりと最高質の看護をもって、この全人的な癒しを進めていくという特有の責任と荣誉を担っているのである。」

第4章. 看護にまつわる数値

数が物語ること

- 1100万 世界の就労看護師数。
- 110億 世界で、1年のうちに看護師によって行なわれる注射の数。
- 4074 1999年のポリオ症例数。
- 1870 国際赤十字社に看護師が勤務し始めた年。
- 20% アメリカ合衆国で行なわれた研究によると、看護師によるケアにかかる費用は、医師による同じケアにかかる費用よりも20%低い。
- 80% 看護師によって提供されているプライマリ・ヘルスケアの割合。
- 260万 1999年、エイズによる死の総数。
- 5 1998年、チェチェンで暗殺された国際赤十字社の看護師の数。
- 66% 病院で働く看護職員の割合。
- 37.8 2050年に予測される世界人口の平均年齢。現在の平均年齢は26.1歳。
- 20兆ドル OECD* 諸国で支出される年間保健費用。これは、世界の年間総保健支出費の90%に当たる。
- 2% ヨーロッパ共同体における総労働人口中、看護師と助産師が占める割合(概算)。
- 3分の1 結核に感染している世界人口の割合。
- 42.3 アメリカ合衆国における就労看護師の平均年齢。
- 24と365 看護ケアが「あなたのために、あなたのそばにある」、1日のうちの時間数と1年のうちの日数。

第5章 最近のデータから

2000年5月12日 あなたの町、あなたの国

今日、患者が同じ都市にいても何千キロメートルも離れたところにおいても、看護師は、看護相談を行ったり、患者を安楽にしたりすることができる。電話で、不安な患者を落ち着かせ、損傷を評価し、あるいは救急外来を受診すべきかどうか助言を与えることができる。今では通信技術によって、看護師が農村部や遠隔地に、またヘルスケア・サービスのない地域にヘルスケアを提供できるようになった。

電話を通じて看護師が対処するという上記の例は、いわゆるテレナーシング(遠隔看護)の一部である。テレナーシングを通して看護師は、保健サービスの需要管理を行い、消費者を教育し、ハイリスク集団にカウンセリングを行い、勤務時間外に患者に適切な医療情報を提供し、慢性的な病状や衰弱性疾患をもつ患者とのコミュニケーションを維持していく。また電話を使用することによって、出張ヘルス・チームを通じて看護を当該コミュニティへ提供することができる。人口が広範囲に分散している国、あるいは農村人口を抱える国では、テレナーシングは、ヘルスケアを国民全体に利用しやすいものにする費用効率の良い戦略である。

テレヘルス(遠隔医療)は、ヘルスケア・サービスを提供するために高度な通信技術を使用することである。例えば、大学病院で診察を受けるために、検査結果、レントゲン検査、その他の診断データを大学病院の専門家に伝送することができる。看護師もまた、患者の査定と処置のためのツールとして、最新のテレビ会議用機器を活用す

ることができる。このような「ビデオ・クリニック」診療は、外来診療とさほどの違いはないように見えるが、時に患者と看護師が何百あるいは何千キロメートルも離れているということがある、というところに違いがある。テレヘルスは、遠隔地の村落や十分な保健サービスを手に入れないところに住む人々にとって、障壁を取り除き、ヘルスケアを受けることができるようにするものである。

看護師は、健康のための必須の資源である。病院や診療所、地域社会の場であっても、あるいはテレナーシングやテレヘルスの活用を通じてでも、看護師は、時間や距離また状況によって中断されないケアの連続性を維持して、人々に接していこうとする。

テレナーシングの具体的行動

ナショナル・ヘルス・ダイレクトは、資格と経験を備えた看護師をスタッフとして配置した、イギリスで行われている24時間の電話アドバイス事業である。原則として、本人や家族のケアがうまくできるように、家庭に居ながらにして、より簡単に、そしてより迅速に、助言と情報を提供している。この電話アドバイス事業についての評価は、電話をかけた人の40%を非救急体制の保健医療施設へ行くように指導することによって、保健サービスへかかっていた負担が緩和されたことに示されている。

アイランドの看護研究者は、問題のある乳幼児を持つ母親への支援目的として、電話の使用が可能であるということを示した。熟練したナース・カウンセラーから、2ヵ月間で最高5回の電話を受けた何人かの母親が、この電話による看護介入で、倦怠感と抑うつ状態を緩和させることができた。

スウェーデン郡評議会連盟は、スウェーデンの全地域に「電話看護」センターを創設するという目標を設定した。現在までに、7ヵ所の電話センターが運営されている。

デンマークでは、脊・腰部に問題のある人々対象の外来診療所で勤務している看護師が、自宅にいる患者と電話で定期的な接触を続けている。評価によると、患者は満足し、入院件数と入院日数が半減できた。看護師による定期的な電話での接触と支援は、患者の自己の状態への対応と治療をしっかり受けたいこうとする気力を高めたのである。

ケアの安全性と質に取り組む看護師

看護師は、自己規制、専門職者としての規律、一般の人々へのアカウントビリティを通じてケアの安全性と質を保証していこうと努力している。一般の人々が看護師へ寄せる信頼は、世界中の看護師によって遵守されている看護実践上の規則および「倫理規定」を通じて保証されている。

実践するために、看護師はヘルスケアを提供する専門職者として登録され、免許を取得しなければならない。看護師は、看護実践への適格性を維持しているということを保証するために、資格登録を定期的に更新していく。加えて、看護師は多くの場合、継続教育を受けてきたことを自ら示さなければならない。そのような登録と免許制度は、一般の人々が適切な要件を備えた看護を受けることを保証していくものなのである。

さらに世界中の看護師は、ICNによって作成された倫理と専門職者としての行動についての規定を採用してきた。この規定は、専門職である看護の目的と哲学を確立したものである。「ICN 看護師の倫理綱領」は看護師の役割が4つあると定義している。すなわち、健康の促進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和である。

看護師はまた、一般の人々と社会的契約を結び、ケアを提供していく。このケアとは絶えず更新されるもの、またその有効性を示す信頼できる証拠に基づいたものなのである。看護研究者は、健康促進と、疾患や障害を持つ

人々に対する生活の質の向上のためのより良い方法を継続的に探究している。看護師は、看護介入の効果とケアがもたらす影響を明らかにすることに関心を抱いている。ケアの質を監視するために、看護師は病院内患者転落・転倒率、褥創発生患者数、患者のケアについての満足度、院内感染発生件数などの指数を活用している。

看護師は、世界中の専門職のなかでも最も信頼されているものの一つである。看護専門職がフローレンス・ナイチンゲールによって確立されて以来ずっと、第一に看護師が忠誠を尽くす相手は患者であったのである。

健康なときの看護と病気のときの看護

【本当かうそか?】

大多数の看護師は女性で、白のユニフォームを着て病院で患者をケアしている。

うそ

これは看護師に関してよくあるステレオタイプであるが、実際、女性も男性も多くの看護師が、病院以外の場所で働いている。個人の家、学校、工場、地域にあるホームレスのシェルター、刑務所、交戦地域、難民キャンプの仮設テントで働いている。看護師はまた、政策立案、運営、教育、研究に携わっている。看護師は大学で講師、学内行政職、教授、学部長などの重要な地位についている。

【本当かうそか?】

看護師は、ほとんどのヘルスケア・システムの主力である。

本当

世界中でケアを提供している 1100 万人の看護師が、保健サービスを効果的に提供していく鍵を握っている。実際全ての国で、特にプライマリ・ヘルスケアにおいて、看護師はヘルスケア提供者の最大多数を占めている。「看護師と助産師を合わせると、その数はほとんどの国で、国民医療保健制度の有資格労働者の 80%になる。」と WHO 事務局長、グロ・ハルレム・ブルントラント博士は言う。看護師は災害救援、難民キャンプ、武力紛争状況における医療の大部分を提供している。看護師は学校保健を管理し、ストリート・チルドレンを援助し、重篤な疾病を持つ若者の手当てを行う。また妊娠期間の安全な経過と健康な出産を促し、穏やかな死を支援し、慢性病をもつ人々をケアし、ケア戦略の向上を模索している。

【本当かうそか?】

看護師の第一義的取り組みは、傷病者をケアすることである。

うそ

傷病者をケアすることは看護の極めて重要な役割ではあるが、看護師はまた、疾患の予防と健康の促進に努めている。十代の妊娠、タバコの使用、栄養不良、薬物依存あるいは暴力による傷害等の問題に看護は取り組んでいる。看護師は、労働環境の衛生と安全の向上を促している。ICN の「看護師の倫理綱領」※ は、看護の役割は 4 つあり、健康の促進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和であると定義している。

「ICN 看護師の倫理綱領」(2000 年改訂、ジュネーブ、ICN)

【本当かうそか?】

看護師は、各自の健康に責任が持てるように人々を援助する。

本当

看護師は、人々がヘルスケア・システムを理解できるように援助する。これには、多くの場合、ケアを受ける権利、またプライバシーや秘密の保持や尊厳を守る権利を人々に気づかせることが含まれる。他の専門職者や地域社会の資源と協力することによって、看護師は個人や家族また地域社会が問題を解決できるようにする。例えば、子どもの栄養不良に対して、看護師は、ソーシャル・ワーカー、栄養学者、農業関係職員、学校教師、親を含めたチームで取り組みを行う。

全ての年齢層と発達段階のための看護

看護師は、24時間昼夜を問わず、また一年中、全年齢層の人々に健康なライフスタイルを促し、根源的なケアを提供している。日夜、出産があり、子供は病気になり、大人は事故にあう。そして高齢者は弱くなったと感じ、サポートが必要であると思うかもしれない。看護師は、母親を教育し、乳幼児に免疫処置を行い、児童を学校でスクリーニングし、思春期の子どもたちに健康なライフスタイルについてカウンセリングを行い、成人に適切な運動と食事を奨励し、高齢者の生活の質を引き上げ、死にゆく人を穏やかな気持ちに導く。

人の一生を通じて看護師が行う保健サービス活動をいくつか挙げると、次のものが含まれる。

【キャプション 2】

ライフ・ステージ	看護師が行う支援
乳幼児期および小児期	<ul style="list-style-type: none">母乳保育など適切な栄養を確保すること視力、聴力をスクリーニングすること安全および事故防止を促すこと成長と発達を監視すること免疫処置
思春期	<ul style="list-style-type: none">健康と発達についてのカウンセリングリプロダクティブおよび性についての教育事故防止とリスクの軽減免疫処置とスクリーニング
成人期	<ul style="list-style-type: none">健康な妊娠期間と安全な出産を保証すること職場における健康支援を実施すること血圧や血糖値などの定期検診の実施
老人	<ul style="list-style-type: none">健康な老いを支援すること、および高齢者を尊ぶこと社会および経済生活への高齢者の全面的参加を奨励すること健康である期間を長く維持していくこと、また世代間の

【キャプション 2】

ライフ・ステージ

看護師が行う支援

連帯を強めること

それぞれの発達段階あるいはライフ・サイクルにおける看護活動は、健康の増進と生活の質の向上を促すものである。